



地区目標 ロータリーに夢をもって行動しましょう!!

クラブテーマ 想像から行動へ～優しさ溢れる出会い (DEI) のクラブ～

- ◆点鐘：市村 清勝 会長 ◆ロータリーソング：蔵王を仰ぐ
- ◆司会：遠藤 直樹 S.A.A. ◆会場：山形グランドホテル

第2961回例会 令和4年11月7日(月) 第2962回変更例会 令和4年11月13日(日)

会長あいさつ

市村 清勝 会長



皆さん、こんにちは。なかなかコロナも収まらない中、このように多くの皆さんにお集まりをいただきまして本当にありがとうございます。

最近、個人的なことをだいぶ話をさせていただいたので、今日はロータリーのことを少し話をさせてもら

いたいと思います。

これは今年のRIのロゴマークであります。どういう意味があるかという、下の緑の横の太い線は力仕事を表しているんだそうです。力仕事をする時の、これが棒なんだそうです。行動を起こす人たちであるロータリーの会員にとって、物事を成し遂げるための道具を表しているというふうにいわれています。そして、この真ん中の丸はつながり、和を表しているというふうなことだと思います。それと最後にこの点々が7つ付いているんですね。この7つの点々は、ロータリーでいう7つの重点分野を表しております。

7つの重点分野の中で、1つ目は平和構築と紛争予防。2つ目が疾病の予防と治療。3つ目が水と衛生。4つ目が母子の健康だそうです。5つ目が基本的教育と識字率。まだ識字率が低い国がたくさんあるんじゃないでしょうか。そして6つ目が地域社会の経済発展というふうなことになっております。そして最後の7つ目が今年から新しい重点分野に入りました。環境が入ることになりました。

西クラブではその環境をテーマに、先月カモシカの保護活動をやっている東先生に30万円の寄付をさせていただきました。そして、1月23日のIMでは「スノーモンスターを守れ」ということで開催をさせていただきました。先週も企画部会の打ち合わせをさせていただきましたが、環境も大きなテーマになるというふうなことであります。2つともとてもタイムリーな企画になったなと思っているところであります。

幹事報告

安部 弘行 幹事

- 新入会員のご紹介です。株式会社エース・プランさんの菅原章由さんであります。よろしくお祈りします。
- ハオ君に、奨学金をお渡ししたいと思います。
- 地区大会が13日日曜日に開催されます。7時15分に市役所の南側の道路に大型バスが着きますので、バスで行かれる方は遅れないようにお集まりください。感染拡大しております。バス内ではマスクの着用をお願いいたします。
- 本日の例会後、理事会を開催いたしますので、理事、役員の方はお残りください。
- 今月のロータリーレートは148円です。

委員会報告

親睦・家族委員会

会員9名、奥様6名、11月に誕生日を迎えられます。おめでとうございます。

なお会員の皆さまは、当クラブから奥様へ誕生日プレゼントである「大切なギフト」、へのお申し込みを忘れないようよろしくお願いいたします。

市村清勝会長より

西ロータリークラブ細則2条1節1項により発表させていただきます。ここでは「会長は年次総会の概ね1カ月前の例会において、指名委員会の指名した次々年度会長候補および3年後の会長候補者の氏名を発表しなければならない」となっています。

先日、指名委員会をさせていただいて次々年度会長候補者に遠藤靖彦君。そして3年後の次々年度会長候補者に五十嵐信君を指名させていただきます。

長澤裕二会長エレクトより

来年、私が会長をやらさせていただきます。続きまして、理事として、副会長五十嵐信さん。理事として、会長エレクト遠藤靖彦さん。新たに理事が中山真一さん。浦山潔さん。戸田正宏さん。西谷真一さん。会計が原田久雄さん。幹事、三沢大介さん。以上です。

よろしくお願いいたします。

新入会員あいさつ



菅原 章由 さん

[株式会社エース・プラン]

本日、歴史と伝統のある西ロータリークラブへの入会に際しまして、ご承認いただき誠にありがとうございます。ひとつご指導のほどよろしくお願いたします。これからもロータリークラブの活動を通じて地域貢献・社会貢献に携わってまいりますので、ご指導のほどよろしくお願いたします。

ニコニコ BOX

〈11月7日〉

市村清勝会長／無事故無違反

11月5日で待ち望んだ1年間の無事故無違反で累積点数がゼロになりました。ニコニコです。

高橋勝治さん／皆川所長様をお迎えして

私の長女が東北財務局勤務の時、大変お世話になりました。今日の講話楽しみにしております。今後ともよろしくお願いたします

福塚一哉さん／皆川事務所長をお迎えして

本日は財務省東北財務局山形事務所長にお越しいただきました。日頃より社業で大変お世話になっております。本日はどうぞよろしくお願いたします。

川辺智之さん／皆川事務所長をお迎えして

弊社業務、業界については日頃より大変お世話になっております。本日のご講演を楽しみにしております。

細谷伸夫さん／やっと孫ができました

おじいちゃんと言われていますがまだまだ現役です。でも法的にはやっぱりおじいちゃんかな。

菅原茂秋さん／ロータリー財団セミナーに参加して

10月28日に開催されたロータリー財団セミナーに参加してまいりました。セミナーでは2830地区弘前アップルロータリークラブの関場パストガバナーに“エンドポリオに向けたロータリー活動”というテーマでご講演いただきました。初めにポリオとはどういったものかというお話をいただき、ポリオ（小児麻痺）の怖さと若者の可能性を奪ってしまう怖いウイルスであるという理解を深めることができました。1988年にロータリーがポリオ根絶に向けた活動をスタートし、フィリピンの600万人にワクチンを提供したことから始まり、1994年、南北アメリカ撲滅。2000年、西太平洋地域で撲滅宣言。2003年には野生株が残り6カ国まで撲滅。現在ではアフガニスタンとパキスタンの2カ国までになりました。寄付総額は2011年時点で10億ドルを超えたそうです。関場さんはローターアクターとともに毎年50名程度でインドにワクチン接種協力に訪問されているそうです。ポリオウイルスにはワクチン株やワクチン由来の株が存在するらしく、継続的な支援が必要であるとお話されておりました。子どもたちの未来を確かなものにしたいとおっしゃる関場さんのお言葉に感謝しニコニコさせていただきます。また11月はローター財団月間にもなっておりますので、少額でもかまいませんので皆さまの善意をお願できれば幸いに存じます。子どもたちの未来のためにご協力を。

ゲスト卓話



山形県の経済動向について

皆川 修磨 さん

[財務省 東北財務局 山形財務事務所 所長]

山形財務事務所長の皆川と申します。山形財務事務所の紹介をさせていただきますと、当事務所は財務省の総合出先機関でございます。国の予算が適切に使われているかという執行の調査、災害があった時に国が復旧の事業費を負担する予算、復旧事業費の決定の作業でありますとか、地方の公共団体さんが社会資本整備を行う場合にその事業費を融資するというもの、施策を企画立案するための経済の調査、国有財産管理など、大変幅広いというところでございます。それから金融庁からの委任を受けまして、金融機関に対するモニタリング、監督も行なっているところでございます。本日はそのうち経済調査に関するものをご説明させていただければと思っております。

当事務所では、経済動向に関しましては県内の企業様を訪問いたしまして、その景況感でありますとか、生産の動向、消費の動向などのヒアリングを行っております。そのほか、さまざまな統計の資料を分析いたしまして直近の動向を確認しているところでございまして、その調査結果を毎年4回、県内の経済動向、経済情勢報告として公表させていただいております。直近ではこの11月1日に経済情勢を公表させていただきまして、本日はその県内経済の報告の内容を中心にお話をいたします。

資料1の東北経済産業局が発行しております『東北経済のポイント2021』を編集したのですが、東北における山形県の状況をご説明いたします。東北6県の面積、約6万7千平方キロメートル、全国の17.7%を占めております。東北6県の総人口は約860万人、全国の6.8%。面積の広さに対して人口が少ないという地域でございます。面積で見れば山形県は東北6県の中で5番目、人口についても5番目となっております。経済面で見ますと、東北管内における総生産についても山形県は域内総生産というところが5番目となっております。製品出荷額等は福島、宮城に次いで3番目に位置しております。

東北6県の人口は約860万人台、これは2019年の数字として山形県は約108万人ということで約12%となっております。ただ、令和4年10月1日時点の県内の人口が県から公表されておまして、1,040,971人と報告がされております。グラフを見ますと、どの県も人口の減少が進む見込みとなっております。山形県につきましても2040年には約83万人と予測されておまして、最も人口の多かった1995年との比較でいくと約3分の1が減少するという、あくまで推計値されておまして、人口の減少というのは全国的な問題でございますけれども東北におきましても深刻な社会課題となっております。

山形県は面積、人口、地域内の総生産も6県中の5位というお話をいたしました。その中でも製造品の出荷額では3番目、東北全体の製造品の出荷額は全国の5.6%、決して高いというものではありません。製造業の中心は、歴史的に高速交通網の整備が進められたということから南3県への工場立地が進んでいったということから製造業が南3県は強い形になっているのでございます。

続きまして全国製造品の出荷額におけるシェアを品目別に見たものですが、電子部品・デバイス、それから情報通信機械・器具、この業態に限って見ると、全国の約15%を東北が占めているということになります。この数字から見

まして東北は電子部品の製造については全国でいきますと中核地域であるということになります。山形県は電子部品、情報通信機械、それから食料品の割合がかなり高いということがお分かりいただけるかと思えます。

山形県は1世帯の平均人員が全国の1位です。これは令和2年の国勢調査だと思えますけれども、3世代の同居率も1位となっております。共働き世帯の割合も全国2位となっております。こうしたことに支えられまして、山形県は世帯単位での収入が多いと、世帯の可処分所得が高いということになります。山形県の世帯の可処分所得というものは全国でも上位にありまして、消費の力は強いともいわれております。さらに付け加えますと、自動車の所有台数も全国で1位。さらに持ち家住宅も広いというような形に結果としてつながってきておりまして、統計上の数字の意味付けがそれぞれ関係性を持っていることが並べてみると分かるところでございます。

次に本題の山形県の経済情勢のお話をさせていただきたいと思えます。まず、その前に国全体としての経済状況は、内閣府が公表しております10月の月例経済情勢報告を見ますと「景気は緩やかに持ち直している」とされております。それから、「ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある」と報告されております。

11月に仙台の東北財務局が公表いたしました管内経済情勢報告ですけれども、東北の全体の経済情勢については「管内経済は緩やかに持ち直している」としております。この総括判断については青森と福島が判断を上方修正、宮城、山形、岩手、秋田については据え置きとなりました。山形の経済情勢は「緩やかに持ち直している」と判断しております。この「緩やかに持ち直している」というものはなかなか微妙な表現ですけれども、これは「回復には至らないものの横ばいよりは上向き状態で、その傾きが緩やかである」という意味として使っているところでございます。

次に山形県の経済情勢を「緩やかに持ち直している」と判断したその根拠について具体的にお話させていただきます。私どもでの経済情勢は景気の良し悪し、水準の判断ではなくて、前回に比較して回復しているのかそれとも悪化しているのかというその矢印がどちらに向いているのかという方向性を判断してお示ししているところでございます。その際に根拠としている指標ですけれども、個人消費、生産活動、雇用情勢、設備投資、企業収益、企業の景況感、住宅建設、公共事業、この8項目を主に調査して分析して判断しています。この8項目のうち、特に重要視しているのが個人消費と生産活動と雇用情勢でございまして、本日はもう少し具体的にこの3つについてご説明させていただければと思えます。

個人消費から見ていきますと、全体としては「緩やかに持ち直している」としてあります。経済情勢を判断する上で個人消費というのはとても重要でございまして、GDPに占める個人消費、国のGDPの50%強が個人消費といわれておりますので、この動向というのは非常に重視しております。見る際には、項目としては百貨店、スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンター、それから家電、乗用車販売、それから旅行の状況などを確認しまして、各データの分析と、それからヒアリングの結果によって判断をしているところでございます。

具体的な数字を見ていきますけれども、百貨店、スーパーの販売額からまいります。この6月から8月の3カ月平均で見ますと、前年比では、真ん中に箱を書いておりますが、マイナス2.1%となっております。前年を下回っています。金額

ベースで見ますと、令和4年7月のスーパーの販売額は116億円ですが、そのうち飲食料品が100.5億円にもなっておりまして、飲食料品の状況に注視をしているところでございます。

それで企業からヒアリングした結果によりまして、安価なプライベートブランド商品の購入の動きは見られるものの、即食、完食のニーズにより総菜等が好調となっているという声がありました。資料にはありませんが、品目別で見た時には、実は衣料品の販売額が前年から大きく下回っているということがこの全体のマイナスになった主因と考えられておりまして、主力である飲食料品は7月でプラス2.7%と堅調であったということが数字で表れておりました。

次にコンビニエンスストアの販売額ですけれども、前年比ではプラス3.6%と上回っておりまして、こちらも6月から8月にかけて販売額が伸びてきております。新商品効果によってカウンターフーズ等が好調となっていることから前年を上回っているところでございます。

次に生産活動に少し飛ばさせていただきますと、生産活動につきましても、山形県内でウェイトの高い電子部品・デバイス、汎用・生産用の機械、食料品、情報通信機械、こうしたものの鉱工業生産指数の動きを中心に見ているところでございます。電子部品・デバイスが指数でいくと124.2。それから汎用・生産用・業務用機械は指数でいうと105.3。食料品も情報通信機械も前年からプラスになって、堅調な状況となっております。

食料品についても、内食向けについては値上げの影響がありまして減少。一方で外食向け行動制限がないということから堅調であったという声が聞こえておりまして、情報通信系はパソコンが堅調となっている企業の声がございまして、鉱工業生産指数全体で見ると、前期と比較してプラス3.7%、指数でいうと106.8ということで、これは堅調な状況というか持ち直している状況が続いているということで、判断は据え置きとさせていただいているところでございます。

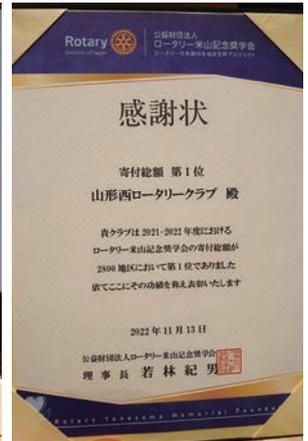
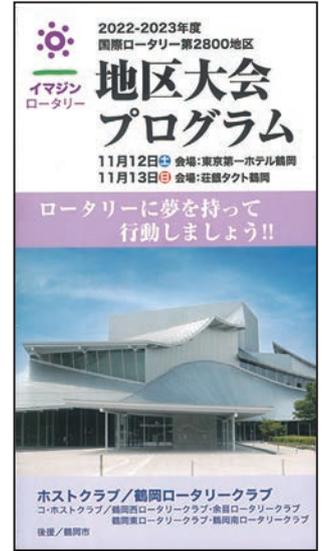
続きまして3つ目の、最後に雇用情勢はよくニュースでも出ておりますけれども、推定求人数が、有効求人倍率が上昇しているということでございまして、こちらは前年を上回っているということで持ち直しているという形で、上方修正したという形になっております。ヒアリングの結果からいくと人手不足感がやはりありまして、中途採用を進めているとか、宿泊業につきましても新規求人数が増加している状況でございまして、持ち直していると判断しております。

先行きについてはウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、物価上昇等による下振れリスクに十分注意する必要があるとしております。我々としては地元企業様へのヒアリングによる調査ですとか、各種の統計の調査の分析を進めまして、今後の物価上昇が与える影響ですとかを十分お話を伺いながら注視して経済情勢の判断をしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。



| 本日出席 (11 / 7) | 会員総数 | 出席会員数 |
|---------------|------|------------------|
| | 101名 | 61名 (Zoom参加7名含む) |

令和4年 11月13日(日)



＝ 会員懇親の夕べ ＝

